科科授 開 開教担到1.2.ル 評 評 学デ教 概 授 注目目	はする細胞、 性、植生、 シク を目標項「 ポリシー DI	□ ス 夏学期(2nd 生物 (東京 山本 歩 ・ とに ・ とい ・ とい	は-Q) 書籍)、生物基礎のいて、単独には、生物のののでとである。生物のでときるを含む、生物のでときる。 (全) はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	本内環境の維持につ 地球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	対象子年 週時間数 員作成資料 具作成資料 いて理解し、説明。 一で現点できる。 連維的と遺明できない。 を物の説明を見まるとしていた。 をもいていたが、が、説明できない。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいたが、にない。 できないた。 をもいた。 できないた。 できないた。 できない。 できないた。 でき	2 2nd-Q:2 Proきること。 ることができること ついて理解できること ついて理解できること ついて理解できること ついて理解できること ついてと	A: 1	のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
授業形態 開設期 開設期 到達物のブリュニー 弾 価項 項 のコン法 要の進めのブラ方法等	性、植生、 リク ドリシー DI 等	講義 を	は-Q) 書籍)、生物基礎のいて、単独には、生物のののでとである。生物のでときるを含む、生物のでときる。 (全) はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	を(東京書籍)、教 本内環境の維持につ 也球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	単位の種別と単 対象学年 週時間数 員作成資料 以下では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	位数 学修単位を 2 2nd-Q:2 目できること。 ることができること ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
開設学科 開設期 教科書/教材 担到達物のブリュニュージュージュージュージュージュージュージュージュージュージュージューショージューショージューショージューショージューショージョージョージョージョージョージョージョージョージョージョージョージョージョ	性、植生、 リク ドリシー DI 等	産ステー夏 (2nc 主) 要 (2nc 主)	は-Q) 書籍)、生物基礎のいて、単独には、生物のののでとである。生物のでときるを含む、生物のでときる。 (全) はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	を(東京書籍)、教 本内環境の維持につ 也球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	対象学年 週時間数 員作成資料 いて理解し、説明 で 現 で で 現 で で 表 で で の で が 、 説明 を 様でき 系 で が 、 が 、 が 、 と 説明 で 態で で な し い ち と 説明 で 態でき な に か が 、 し い ち と 遺 で で な と 遺 で で な ご で で な で で な で で な で な で で な で で な で で な で で な で な で で な で な で な で で な で な で な で な で な で な で で な で な で な で で な な で な な で な で な で な で な で な	2 2nd-Q:2 可できること。 ることができること へルの目安 ついて理解できる。 ついて理解できる。 ついて理解できる。 ついこと ついこと ついこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと がこと	のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
開設期 教科書/教材 担当教員 到達物のブリッ 1.生物のブリッ 評価項目1 評価 科プ方 対イ育 のロ法 等の がある。 学デ教 概要	性、植生、 リク ドリシー DI 等	□ ス 夏学期(2nd 生物 (東京 山本 歩 ・ とに ・ とい ・ とい	は-Q) 書籍)、生物基礎のいて、単独には、生物のののでとである。生物のでときるを含む、生物のでときる。 (全) はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	を(東京書籍)、教 本内環境の維持につ 也球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	対象子年 週時間数 員作成資料 具作成資料 いて理解し、説明。 一で現点できる。 連維的と遺明できない。 を物の説明を見まるとしていた。 をもいていたが、が、説明できない。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいていた。 をもいたが、にない。 できないた。 をもいた。 できないた。 できないた。 できない。 できないた。 でき	2nd-Q:2 目できること。 ることができること ベルの目安 ついて理解できる。 いこと ついて理解できる。 いこと ついて理解できる。 いこと ついて理解できる。 いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
教科書/教材 担当達目標 1.生物のブリュニー 1.生物のブリュー 1.生物のブリュー 1.生物のブリョー 1.生物のブロリョー 1.生物ので 1.生物の 1.	性、植生、 リク ドリシー DI 等	生物 歩 遺生態 を	書籍)、生物基础のいては、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物をは、生物を	本内環境の維持につ 地球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	具作成資料 「中華」では、説明ない。 「一本ででである。」では、説明では、説明である。。 「「一本でである。」では、説明できない。。。 「「一本では、説明できない。」できない。 「「「一本では、記明できない。」できない。 「「「「「「「「「「「「」」」できない。 「「「「「」」では、これできない。 「「「「」」では、これできない。 「「「「」」では、これできない。 「「「「」」では、これできない。 「「「」」では、これできない。 「「「」」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	明できること。 ることができること ベルの目安 ついて理解できる。 いこと ついて理解できる。 いこと ついて理解できる。 いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
担当教員 到達目標 1.生物のブリッ 1.生物のブリッ 評価項目1 評価項目3 学デオ 数要 概要	性、植生、 リク ドリシー DI 等	山本 歩 遺伝系子につり 遺伝系系につり 関係のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の働き、明でいて、 理想的とできる様とできる様とできる様とである。 生物のでときる様とできる様のでときる様のでときる様のでときる様のでときるが、 「個百百が、日本のでときるが、日本のでは、日本の	本内環境の維持につ 地球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、 のいて理解でき、	いて理解し、説明広い視点で考える 標準的な到達レ 細胞と遺伝子さが、説明できな 生物の多様性にが、説明できなが、説明できなが、説明できな 値生と生態系にが、説明できなが、説明できなが、説明できなが、説明できなが、説明できなが、説明できなが、	ることができること ベルの目安 ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
到達目標 1.生物の多様 ルーブリッ 評価項目1 評価項目3 学イプ方法等 概要	性、植生、 リク ドリシー DI 等	遺伝子とそつ 遺伝子につ との関係 P2 ©	いて説明でき、地理想的と遺きを持ている。 理想的と遺きる様にといる。 生物明のできとできるを含まれる。 をはいるという。 にはいる。 はいるできるは、という。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には	世球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	広い視点で考える 標準的な到達レ 細胞と遺伝子さな 生物の多様性にが、説明できな が、説明できな が、説明できな を が、説明できな を が、説明できな が、こと生態できな が、ことなっている こ。そ での成が。 できな	ることができること ベルの目安 ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
1.生物を構成 2.生物の多様 ルーブリッ 評価項目1 評価項目3 学ディカラウス 学デス 教 概要	性、植生、 リク ドリシー DI 等	生態系につ関係 P2 ® 【2コーに命生期 細ち環解として、 は現と過しまでは現と地域のと関連をはいるである。 というでは、 というでも、 といる というでも、 といる といる といる といる といる といる といる といる といる といる	いて説明でき、地理想的と遺きを持ている。 理想的と遺きる様にといる。 生物明のできとできるを含まれる。 をはいるという。 にはいる。 はいるできるは、という。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には	世球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	広い視点で考える 標準的な到達レ 細胞と遺伝子さな 生物の多様性にが、説明できな が、説明できな が、説明できな を が、説明できな を が、説明できな が、こと生態できな が、ことなっている こ。そ での成が。 できな	ることができること ベルの目安 ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
2.生物の多様 ルーブリッ 評価項目1 評価項目2 評価項目3 学科の到達 ディプロマポ 教育方法等 概要	性、植生、 リク ドリシー DI 等	生態系につ関係 P2 ® 【2コーに命生期 細ち環解として、 は現と過しまでは現と地域のと関連をはいるである。 というでは、 というでも、 といる というでも、 といる といる といる といる といる といる といる といる といる といる	いて説明でき、地理想的と遺きを持ている。 理想的と遺きる様にといる。 生物明のできとできるを含まれる。 をはいるという。 にはいる。 はいるできるは、という。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 には	世球上の生態環境を ベルの目安 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	広い視点で考える 標準的な到達レ 細胞と遺伝子さな 生物の多様性にが、説明できな が、説明できな が、説明できな を が、説明できな を が、説明できな が、こと生態できな が、ことなっている こ。そ での成が。 できな	ることができること ベルの目安 ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと ついて理解できる。いこと	未到達レベルの目 細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと わらず、いずれにも それらの生物現象(のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
評価項目1 評価項目2 評価項目3 学科の到達 ディプロマポ 教育方法等 概要	を目標項I ピリシー DI 学	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	細胞明の多様性にといる。 生物のできまることに 植生のできまることに をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてもる。 をは明してもる。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明しては、 はいまする。 をはいまる。 をはいな。 をはいまる。 をはいまる。 をはいな。 をはいな。 をはなな。 をはななな。 をはなななな。 をはなななな。 をはなななななななななな。 をはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ぶ多種多様な生物が 性体を構成する細胞、 、物質循環等)を・ 、)生体物質と細胞、	細胞と遺伝子にが、説明できな生物の多様性にが、説生生態できなが、説とままできなが、説とないできなが、これできないたちとよっていたと遺伝学が、	ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと このではないこと	細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと	のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな のいて理解できな
評価項目2 評価項目3 学科の到達 ディプロマポ 教育方法等 概要	ポリシー DI	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	細胞明の多様性にといる。 生物のできまることに 植生のできまることに をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてきまる。 をは明めてもる。 をは明してもる。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明してもの。 をは明しては、 はいまする。 をはいまる。 をはいな。 をはいまる。 をはいまる。 をはいな。 をはいな。 をはなな。 をはななな。 をはなななな。 をはなななな。 をはなななななななななな。 をはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ぶ多種多様な生物が 性体を構成する細胞、 、物質循環等)を・ 、)生体物質と細胞、	細胞と遺伝子にが、説明できな生物の多様性にが、説生生態できなが、説とままできなが、説とないできなが、これできないたちとよっていたと遺伝学が、	ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと ついて理解できるいこと このではないこと	細胞と遺伝子についこと 生物の多様性についこと 植生と生態系についこと	のいて理解できなのいて理解できなのいて理解できなのいて理解できなのいて理解できなのいでは、 生物としての共体をしての共体を上や水中にお
評価項目2 評価項目3 学科の到達 ディプロマポ 教育方法等 概要	ポリシー DI	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	説明できること 生物のできること ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位 ・ 一位	ついて理解でき、 ついて理解でき、 ついて理解でき、 ぶ多種多様な生物が 生体を構成する細胞、 、物質循環等)を)生体物質と細胞、	が、説明できな 生物の多様性に が、説明できな 植生と生態系に が、説明できな を 存在している。そ の成り立ちと遺伝 学ぶ。	いこと ついて理解できる いこと ついて理解できる いこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生物の多様性についこと 植生と生態系についこと がこと	のいて理解できな のいて理解できな といて理解できな 生物としての共 陸上や水中にお
評価項目3 学科の到達ディプロマポ 教育方法等 概要	ポリシー DI	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	説明できること 植生と生態系に 説明できること 説明できること 説明できること 説明できること 記事できること といても の基準にもる。 生物間 といても の基準として、1 働きに必じて、1 の基をしてて、1 の基をしてて、1 の基をしてて、1	ついて理解でき、 ぶ多種多様な生物が 生体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	が、説明できな 植生と生態系に が、説明できな 存在している。そ の成り立ちと遺伝 学ぶ。	いこと ついて理解できる いこと - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	いこと 植生と生態系についこと いこと わらず、いずれにも それらの生物現象(りいて理解できな 生物としての共 陸上や水中にお
学科の到達ディプロマポ 教育方法等 概要 授業の進め方	ポリシー DI	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	説明できること 説明できること 説明できること 数百万種にも及る 象がみ群集、生態系 生時間 として、16 動きに使として、16 の基礎として、16	ぶ多種多様な生物が 生体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	が、説明できな が、説明できな 存在している。そ の成り立ちと遺伝 学ぶ。	いこと この多様性にもかか こ子のかかわりと、	いこと わらず、いずれにも それらの生物現象(生物としての共陸上や水中にお
教育方法等概要	ポリシー DI	P2 ◎ 【2コースは地通の生植児は通びは、	合同授業】 数百万種にも及る 象がみられる。 生物群集、生態系 2時間】 の基礎として、1 働きについて理 の基礎として、1 の基礎として、1	E体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	の成り立ちと遺伝 学ぶ。	子のかかわりと、	それらの生物現象(陸上や水中にお
教育方法等 概要 授業の進め方	Ŧ	【2コースだ地球上には現ったは現の生植生としては現りる種生期間を対している。 【夏学知・記をでいるとは、「ない」とは、「ないい」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ないい」とは、「ない」とは、「ないい」とは、「ないい」とは、「ないいい」とは、「ないいい」とは、「ないいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいい」とは、「ないいいいい」とは、「ないいいいいいいい」とは、「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	数百万種にも及え象がみられる。5 生物群集、生態系 2時間】 の基礎として、1 働きについて理 の基礎として、1	E体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	の成り立ちと遺伝 学ぶ。	子のかかわりと、	それらの生物現象(陸上や水中にお
概要		地球上には現ける権性の (は) は (は) は) は (は) は (は	数百万種にも及え象がみられる。5 生物群集、生態系 2時間】 の基礎として、1 働きについて理 の基礎として、1	E体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	の成り立ちと遺伝 学ぶ。	子のかかわりと、	それらの生物現象(陸上や水中にお
授業の進め方	う・方法	地球上には現ける権性の (は) は (は) は) は (は) は (は	数百万種にも及え象がみられる。5 生物群集、生態系 2時間】 の基礎として、1 働きについて理 の基礎として、1	E体を構成する細胞 系、物質循環等)を)生体物質と細胞、	の成り立ちと遺伝 学ぶ。	子のかかわりと、	それらの生物現象(陸上や水中にお
	・方法	成り立ちと 生態と環境 いて理解を	働きについて理角 の基礎として、1		2)遺伝子とDNA、	3)生物の体内環境	を取り扱い、生体を	 c構成する細胞の
注意点		1 52 1/21-	深める。	.)生物の共通性と多	•	•	物質循環を取り扱い	
		化学系・物 2. 課題20 3. 補充試	理系も含めて自然 19%、到達度試験(学で履修した理科を 然科学系の授業内容 80%で、総合評価を 合、成績は補充試験	を広く理解してお と100点満点として	らくこと。 て、60点以上を合格	合的な自然科学であ 各とする。 。	る。そのため、
授業の属性			□ ICT IIII					る教員による授業
□ アクティン	<i>J J</i>	<i>'')</i>	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	L)	□ 关伤性級のの	の教具による技芸
اتت¥¥≡۲ اتت								
授業計画	1,	- I	·**				5	
	,	週 授	業内容			週ごとの到達目標		
	Ġ	9週 生	生物の多様性と共通性、生体物質と細胞遺伝子の働き、DNAの構造		を		の体を構成する細胞にみられる構造や <u>甬</u> 性を理解する。	
	:	10週 遺				生命活動の中心的役割を担う遺伝子および遺伝 の物質であるDNAの構造や機能を理解する。		うよび遺伝子本体 解する。
	-	11週 生	物の体内環境(1))		生物の体の構造とする。	(体内環境を一定に係	くさい はいい はい は
		12週 生	物の体内環境(2))		生物の体の構造とする。	(体内環境を一定に係	₹つ仕組みを理解
前期 2n	ndQ :	13週 植	[生の多様性と遷称	多		および植生の遷移	を様な植物の生育環境 その視点から理解する	5.
	[:			分布、個体群と生物		する。	生物の集まりと気候	
]	15週 生多	態系の物質生産。 様性	とエネルギーの流れ 	し、生態系と生物 	じる物質やエネル)巻く環境要因と、生 ,ギーの循環について	[理解する。
	:	16週 達	建成度試験、試験返却、解説			到達度試験により学習内容の習熟度を確認する。到達度試験の答案解説および総まとめにより理解を深める。		
ーーー モデルコア	ァカリキ [・]	ュラムの学	習内容と到達					
<u>こファレコァ</u> 分類	/J J -1' -	ユ ノ <u>ム</u> (シ) サ 分野	学習内容	学習内容の到達目	 橝		到達1 //	ベル 授業週
/ / / / / /		77.23	ם נום נו			 !できる。	3	→ □ □ 又未だ
		ライフサイ		地球上の生物の多様性について説明できる。 生物の共通性と進化の関係について説明できる。 生物に共通する性質について説明できる。		3		
						3		
				主物に共通する性質にプいて説明できる。 植生の遷移について説明でき、そのしくみについて説明でき				
				個生の透移について説明でき、そのしくみについて説明できる。 世界のバイオームとその分布について説明できる。		නි රිපිතිං 3		
基礎的能力		エンス/フ	7 エンス/ア					
1.	自然科学	1ーフサイ	エ ー	日本のバイオームの水平分布、垂直分布について説明できる。		17四4年) レフ	_	
	自然科学	ースザイ ンス		生態系の構成要素(生産者、消費者、分解者、非生物的環境の関係について説明できる。		「現境」と 3		
	自然科学	ースサイ		の関係について説	م، <i>د</i> ت ع ه			
	自然科学	ースサイ		の関係について説明 生態ピラミッドにつ	ついて説明できる	。 デーの流れについ	3	

	熱帯	熱帯林の減少と生物多様性の喪失について説明できる。			
	有害物	物質の生物濃縮について説明できる。	3		
評価割合					
	到達度試験	課題	合計		
総合評価割合	80	20	100		
基礎的能力	80	20	100		
専門的能力	0	0	0		
分野横断的能力	0	0	0		